

石原 豊子 選

特
選

夜更けて本を静かにひらく我気づけばいつもまだ見ぬ世界

呉市立川尻中学校二年 西尾 倫

【評】静かな夜の読書。いつの間にか本の中に引き込まれている作者。そのことを「いつもまだ見ぬ世界」が表現して良い。

藍色の母娘二代の浴衣着て涼しき風が袖を駈けゆく

県立三原高等学校一年 尾越 心美

【評】「藍色」の清々しいししかも「母娘二代の浴衣」の表現が良い。「涼しき風が袖を駈けゆく」に作者の喜びが表現されている。

過去偲ぶすきま風吹く祖父の家思い出詰まる空っぽの部屋

呉市立呉高等学校二年 小林 莉緒

【評】「すきま風吹く」「空っぽの部屋」の表現に生前の祖父との温かい思い出を感じさせる表現が良い。

ほしかった本を手に入れ開くとき未知の世界がそこに広がる

広島市立船越中学校二年 朝長 風羽

【評】「本を手に入れ開く時」に、作者の未知の世界への期待感、わくわく感が表現されていて良い。

雨上がり見上げた空に虹がでたきつとこれからいいことあるね

庄原市立東小学校六年 増永 紗也

【評】作者の気持ちの良く分かる歌。見上げた空に偶然に虹と出合った。それだけで何だかワクワク感が。いいことありそうなど。

気になった一冊抱え帰路につく心が躍る秋の夕暮れ

県立広島皆実高等学校三年 佐木 遙月

念願のセーラー服にそで通し心浮き立つ鏡見る朝

県立広島皆実高等学校一年 堀益 優渚

線香の匂い漂う墓地の中思い出される通夜の夜の祖母

県立三原高等学校一年 浅海 優

闇の海山からのぞく煙火は甲斐なく終わり香るさびしさ

福山暁の星女子中学校二年 栗原 千寛

マスク取る勇気があった一学期夏休み明けの不安がつのる

県立三原高等学校二年 向井 文音

双方の考え必ず揃わずに交わす議論はちよつと楽しい

呉工業高等専門学校三年 金満 二葉

ひいじいちゃんに僕の姿を見せに行く今も空から見ていてくれる

三次市立八次小学校六年 岩原 直希

夏に咲く幼き記憶思い出す特等席は母の肩車

県立尾道北高等学校一年 岡田レオナ

夕暮れに姉と比べた影法師いつになってもその丈抜かせず

呉工業高等専門学校三年 橋渡 空

逝く夏の静寂の空見上げ思う時よ私を置いてゆくなと

県立尾道北高等学校一年 藤井 梨那

こんにちは行き交う人のあいさつに元氣をもらった大山登山

庄原市立東小学校五年 岩崎 薫

いつの日か未来で過去を話すとき失敗もすべて笑えるように

県立廿日市西高等学校二年 井上ひより

千羽づる平和を願い折り進める悲惨な戦争起こさぬように

庄原市立東小学校六年 佐々木潤矢

目をつむり平和の鐘を耳にして思いを込める一分間

県立広島中央特別支援学校中部二年 濱田 美遙

道歩きふと見上げれば冬の木に輝く蕾一つみつけたり

県立尾道北高等学校一年 今村 綾希

授業中白光放つ壁を見て炎暑感じた昼の数瞬

県立尾道北高等学校一年 清野 優奈

海開き大きな気持ちで向う海焼ける足跡続く道筋

呉工業高等専門学校三年 柳生 大地

青空に蝉の声響く夏の朝風鈴揺れて涼しさを呼ぶ

県立尾道北高等学校一年 森石 颯真

桜島海に浮かぶ初日の出ここえる朝に光りあふれる

呉市立呉中央中学校二年 大王みさと

夜の海少し聞こえる波の音海にうつりて見える満月

広島国際学院中学校二年 根津 泰斗